



# 厚見中学校

## 1年をととした環境学習

1年生の「総合的な学習の時間」を活用して、「地球温暖化と省エネ」、「自然環境(生き物と水)」、「ごみ減量・資源化(雑がみ・食の循環)」の3つのテーマについて学びました。



▲地球温暖化についての講話を聴く1年生のみなさん。



地球温暖化の影響で気温が上昇しているということを学びましたが、実際に今年の夏はとても暑く、実感がわきました。家電で電気を使うことによって出る二酸化炭素の排出量が多いということも学んだので、家で省エネに心掛けたいと思うし、家族にもそれを伝えようと思います。

## 資源分別回収と地域清掃



6月と10月の土曜日に行われる資源分別回収。限られた時間の中で、生徒たちが何度も回収場所に向かい、たくさんの資源を集めました！

▶保護者の方々の協力もあり、「雑がみ」も、荷台がいっぱいになるほど！



◀資源分別回収の後は地域清掃。歩道、堤防脇、神社、公園など、あちこちで草ぬきやごみ拾いをしました。



# 長森東小学校

## 雑がみ回収モデルスクール

昨年度から、「雑がみ回収モデルスクール事業実施校」として、全校で雑がみ回収に取り組んでいます。

昨年度は、年間5回、土曜授業日に、児童が各家庭で集めた雑がみをもって登校し、一斉に回収しました。



今年度は、児童だけでなく、地域の方々も参加してよりたくさんの雑がみを回収することができ、地域一丸となった取り組みに変わりました。



## アルミ缶集め



毎週火曜日は、アルミ缶回収の日です。福祉委員会(5・6年生)が中心となって、各家庭で集めたアルミ缶を回収します。

集めたアルミ缶を業者に売ることでもらえるお金は、ユニセフとユネスコに半額ずつ寄付しています。アルミ缶66個分でおおよそ115円。これはユニセフ募金では約3回分のワクチンになるのだそうです。

昨年度は約4,200円分のアルミ缶を回収することができました！

▶回収できない缶が混じっていないか手作業でチェックする福祉委員の皆さん



# 島小学校

## えだまめ活動

島小学校のある地域は、もともと川に囲まれた輪中の地域で、水はけのよい砂地を生かした「えだまめ作り」が盛んです。「岐阜えだまめ」というブランドにもなっており、地域がほころ農産物の一つです。

島小学校では、毎年、種まき～収穫・さやちぎり・袋づめ・バザーの開催までの作業を各学年が分担して行います。また、バザーの売り上げの一部は、ユネスコ活動としてカンボジアに寄付します。

地元で農産物を育て、食べる「地産地消(ちさんちしょう)」は、運ぶ(輸送にかかる)エネルギーを減らすことができます♪



▲えだまめの収穫とバザーの様子

▶島小学校から寄付されたバザーの売り上げの一部を使って、カンボジアでは、マンゴーなどの木の植樹がされました。



▲岐阜えだまめ



▲島小学校オリジナルキャラクター「豆太(まめた)」



## 長良川の水質と生き物の調査



▲長良川にはどんな生物がいるんだろう。何種類ぐらいみつかるかな。

## 公園活動



▲3年生は、学級ごとに一つの公園をうけもち、草ぬきやごみ拾い、花だんづくりをします。花だんはデザインから考えます♪



# 三輪北小学校

## どろんこ活動

三輪北小学校は、田園と豊かな自然に囲まれた地域にあり、児童も、地元の農家さんに教わりながら、お米とさつまいもを育てています。今年もたくさん収穫できました！



## 校庭芝生化モデル事業

▶2010年6月に子どもたちとPTA、地域の方や先生約350人が集まって苗を植えた芝生の校庭。今年の夏は猛暑で、散水作業が大変でしたが、緑がとても鮮やかです。芝生があると、けがをしにくいだけでなく、校庭の温度が上がりすぎるのを防ぐ効果もあります♪



## 石田川の水生物調査



▲毎年、少年自然の家の先生を招いて、3年生が石田川の水生物について学びます。希少な生き物がたくさん見つかりました。

## MVS活動(ごみ拾い) 資源分別回収のお手伝い



▲学校の校舎周辺のごみ拾いの様子

▶自治会で行う地域の資源分別回収のお手伝いの様子